

「暮らし」分野

政策
5

過疎・中山間地域の持続的な発展

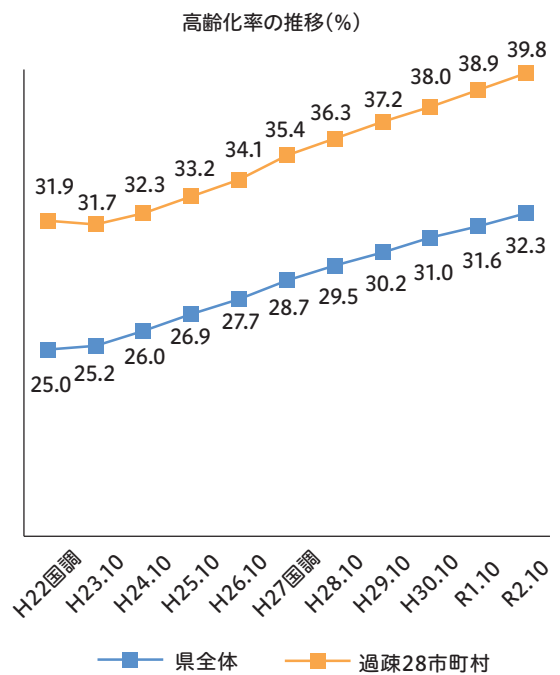
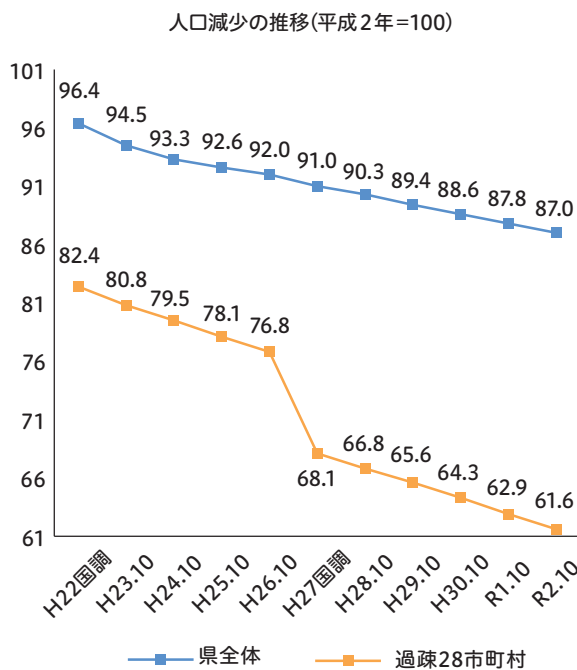
本県は、過疎・中山間地域が県土の約 8 割を占め、県民の約 3 割（約 51.6 万人）が居住しています。（平成 27（2015）年国勢調査時点）

今後、過疎化の進行により、日常生活に必要なサービスの維持が困難となるおそれがあり、市町村と県との連携や市町村相互の連携も考慮し、買い物や地域医療、教育、交通ネットワークなど生活基盤の確保の取組を進めていく必要があります。

また、観光客入込数の増加や農業担い手を含む人材の確保・育成、地域資源を活用した取組など、過疎・中山間地域においても働く場と収入を確保するとともに、集落を活性化する取組やリーダーとなる人材の確保・育成を進め、地域を持続的に発展させることが求められています。



春の人足（西会津町奥川地区）



出典：総務省「国勢調査報告」、福島県企画調整部統計課「福島県現住人口調査年報」
 過疎地域の数値は、過疎地域自立促進特別措置法に基づき全域過疎・全域みなし過疎地域に指定された 28 市町村の値であり、一部過疎 3 市分を含まない。

施策

1

過疎・中山間地域のひとの確保と地域力の育成

過疎・中山間地域が持つ豊かな自然環境や固有の文化等を継承し、集落の活動をけん引できるリーダーを確保するとともに、移住・定住だけではなく関係人口づくりにより地域力の育成を進めていきます。



【主な取組】

①集落の活力づくりに関する取組

集落の維持・活性化を支援するとともに、活動をけん引するリーダーの発掘・育成及び住民参加の仕組みづくりを図ります。

②人の流れづくりに関する取組

移住・定住のほか、継続的に地域を応援してくれる関係人口づくりを図ります。

③地域固有の伝統文化や生活の知恵の継承に関する取組

特色ある地域づくりを行っていくため、地域固有の伝統文化や生活の知恵の継承を図ります。

施策

2

過疎・中山間地域のしごとの確保

伝統的な農林水産業の振興・担い手育成を行うとともに、地域資源をいかした観光関連産業やICT関連産業、ワーケーション等の誘致により過疎・中山間地域の仕事を確保していきます。



【主な取組】

①農林水産業の振興と担い手の育成に関する取組

過疎・中山間地域では豊かな地域資源をいかして多くの住民が農林水産業に携わっているため、その振興を図るとともに、担い手の育成を図ります。

②地域資源をいかした地域産業の育成に関する取組

豊かな自然や豊富な農林水産物、地域に根ざした誇るべき伝統文化など、特色ある地域資源をいかした地域産業の振興を図ります。また、地域経済の循環を生み出す地産地消の取組や自然資源をいかした再生可能エネルギーの導入を推進します。

③観光関連産業の振興に関する取組

すそ野が広い観光関連産業の振興を図るとともに、新しいワークスタイルであるワーケーションを促進します。

④地域の特性をいかした企業誘致に関する取組

きれいな水や空気、豊かな農林水産資源を始め、ICTやロボット開発等、新たな技術への取組など、地域の強みをいかした企業誘致を進めるとともに、テレワークの普及を支援します。

施策

3

過疎・中山間地域の暮らしの基盤整備

子育て、生活交通、道路、情報通信基盤など地域の暮らしを支える環境を整備するとともに、デジタル技術を活用した医療・教育等を確保することにより、過疎・中山間地域の暮らしを充実させていきます。



【主な取組】

①地域医療の確保に関する取組

医療人材の確保・定着を図るとともに、遠隔医療などICT技術を活用した医療提供体制の整備を支援します。

②生活交通の確保に関する取組

高齢者など交通弱者が多い過疎・中山間地域において、住民の足となる生活交通の確保を図ります。

③地域の生活と経済活動を支える道路の整備に関する取組

地域住民の安全・安心で快適な暮らしを守り、地域の経済活動や地域内外との交流を支えるため、すれ違い困難箇所の解消や道路の維持・整備に取り組めます。

基本指標（成果指標）

< 政策 5 >

過疎・中山間地域の持続的な発展

自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合（意識調査）	< 現況値 > < 目標値 >	86.0% ※速報値 ↑ 95.0% 以上	(R3 年度) (R12 年度)
---------------------------------------	--------------------	---------------------------------	---------------------

< 施策 >

過疎・中山間地域のひとの確保と地域力の育成

地域おこし協力隊定着率	< 現況値 > < 目標値 >	54.8% ↑ 64.6%	(R2 年度) (R12 年度)
新たに大学生と活性化に取り組む集落数	< 現況値 > < 目標値 >	70 集落 ↑ 116 集落	(R2 年度) (R12 年度)
地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理面積の割合	< 現況値 > < 目標値 >	51% ↑ 57%	(R2 年度) (R12 年度)

過疎・中山間地域のしごとの確保

過疎・中山間地域における観光入込数	< 現況値 > < 目標値 >	15,068 千人 ↑ 23,200 千人	(R2 年) (R12 年)
特定地域づくり事業協同組合の認定数	< 現況値 > < 目標値 >	1 団体 ↑ 11 団体	(R3 年度) (R12 年度)

過疎・中山間地域の暮らしの基盤整備

すれ違い困難箇所の解消率 (日常的に通行に使用する 21 箇所)	< 現況値 > < 目標値 >	0% ↑ 100%	(R2 年度) (R12 年度)
基幹集落を中心とした集落ネットワーク圏の形成数	< 現況値 > < 目標値 >	48 箇所 ↑ 60 箇所	(R2 年度) (R12 年度)

補完指標

(指標名)	(現況値)		(目標値)	
◆「過疎・中山間地域のひとの確保と地域力の育成」関連				
・地域創生総合支援事業（サポート事業）のうち「過疎・中山間地域活性化枠」の採択件数	R3 年度	14 件	R12 年度	117 件



しおがまじんじやれいたいさいだいたい かぐら
鹽竈神社例大祭太々神楽 (小野町)



大学生と集落住民の共同作業



ワークステイによる農作業体験



ワーケーションツアー



車両のすれ違いが困難な箇所